品番 73463
ワイヤレス温度計 親機 防水型 簡単接続 長距離

ワイヤレス温度計 最高・最低
防水型 簡単接続

通信距離
150m

ワイヤレス温度計 最高・最低
防水型 簡単接続 長距離

通信距離
通常モード:400m
遠距離モード:800m

■用途

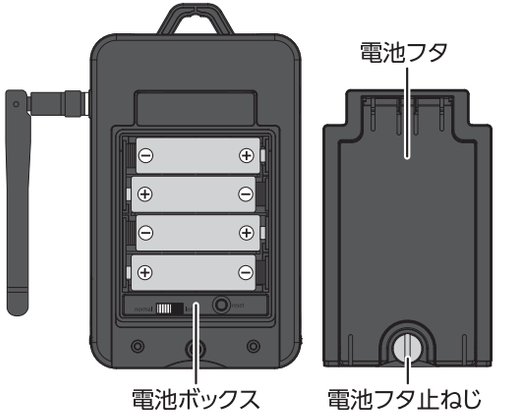
●離れた場所などの温度の測定に。
●ビニールハウスや温室などの温度管理に。

■特長

●離れた場所にある子機の温度を親機で受信し、確認ができます。
●親機、子機共に温度測定ができます。また、子機はプローブ状の温度センサーを2本搭載しているので、離れた2か所の温度を測定することができます。
●子機の中継機能により、中継できる位置に子機を設置することで、電波が直接届きにくい位置にある子機の電波を中継して親機へ届けることができます。
●より受信しやすい位置を判断して設置しやすい受信強度表示付です。
●親機と子機を2ステップで簡単に接続できます。子機は最大5台、親機は3台まで接続可能です。
●通信距離400mの「通常モード」と、通信距離800mの「遠距離モード」を選択できます(長距離タイプのみ)。
●製品本体は防塵・防水性能IP64、温度センサーは防水性能IPX7です。
●親機でそれぞれの子機、それぞれのプローブごとに個別のアラーム設定ができます。
●最高温度、最低温度測定機能付です。子機で確認でき、親機からでも各子機の最高温度、最低温度の確認とリセットを行うことができます。
●電池の消耗状態が分かる電池消耗表示付です。また、親機から子機の電池の消耗状態を確認することもできます。
●背面にはスタンドが付いているので立てて置くことができます。
●USB Type-Cから電源を供給して動作させることができます。

■電池交換方法

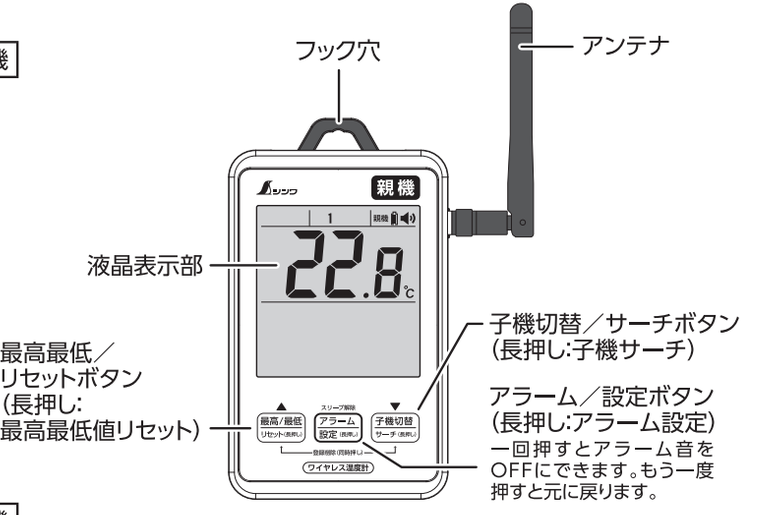
①製品裏面の電池フタ止ねじを回し、電池フタを外して電池ボックス内の古い電池を取り出します。
②新しい電池を入れて電池フタを元に戻し、止ねじを締めます(電池の向きを間違えないように注意してください)。



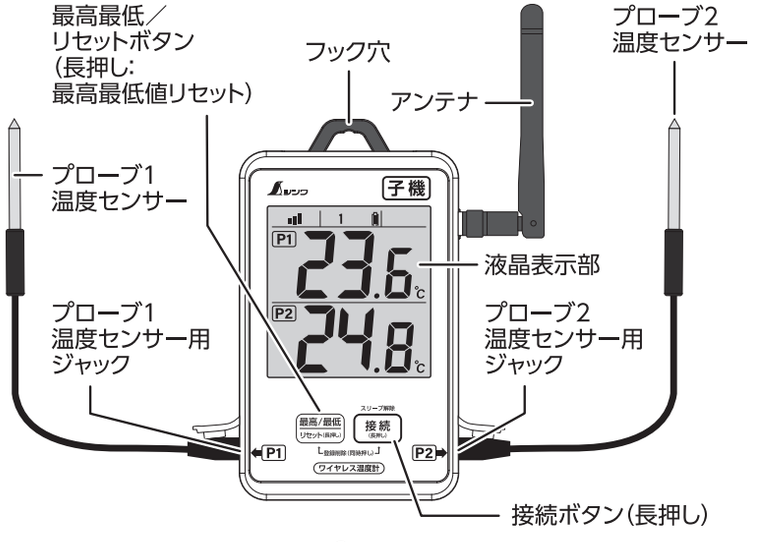
■各部の名称

●正面

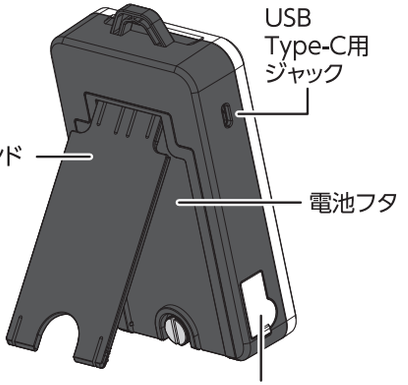
親機



子機



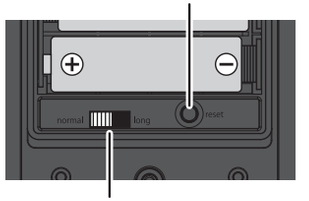
●裏面



温度センサージャックカバー(子機のみ)
温度センサーを使用しない時はゴミの混入を防ぐため、カバーをジャックにはめ込んでください。

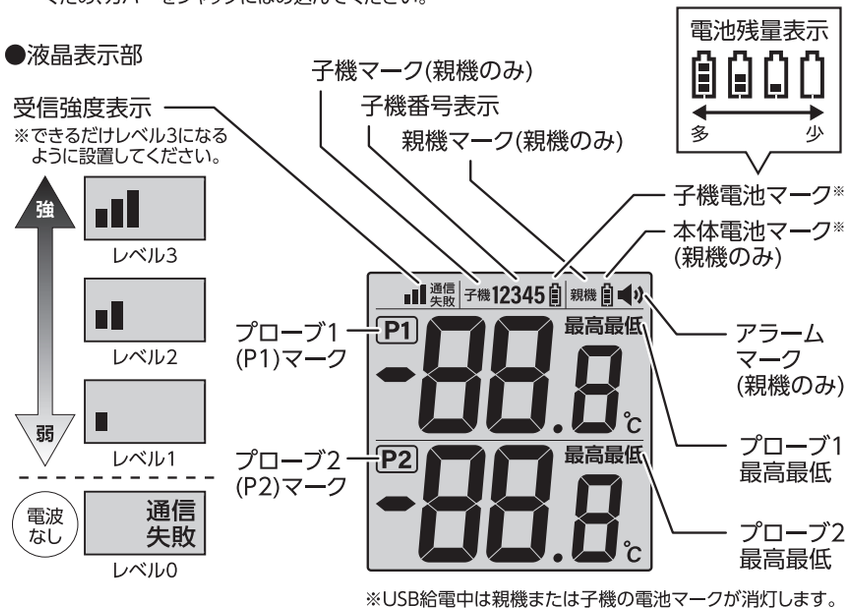
電池ボックス内

リセットボタン
先端の細長いもので押してください。



通信距離切り替えスイッチ
(子機 長距離のみ)

●液晶表示部



※USB給電中は親機または子機の電池マークが消灯します。

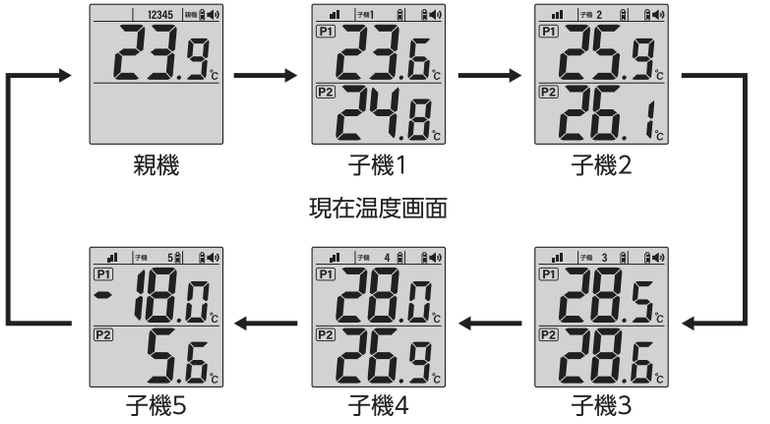
■ご使用の前に

①子機側面の温度センサージャックカバーを開け、付属の温度センサーを装着します。
②本体裏面に電池を入れるか、本体側面のUSB Type-C用ジャックから電源を供給し、温度を表示させます。

■使用方法

①親機に子機を登録(詳細は■子機の登録方法を参照してください)し、アンテナを上向きに立ててそれぞれ設置します。親機、子機はそれぞれ本体裏側のスタンドを引き出して卓上などに設置するか、フック穴に紐を通して吊るします。
子機は親機からの通信距離内に遮蔽物などを避けて設置します。通信する度に受信強度表示が更新されます。
※どうしても受信強度が改善しない場合は、子機をもう一台追加して中継器として親機と子機の間に設置すると改善する場合があります。

②親機の子機切替／サーチボタンで親機の現在温度と子機の現在温度を切り替えて表示します。親機→(子機1→2→3→4→5)→親機の順に切り替わります。登録されていない子機の測定値は飛ばして表示します。
※「親機」と表示されている時は親機の測定値、「子機」と表示されている時は隣に点灯している番号の子機の測定値を表示します。



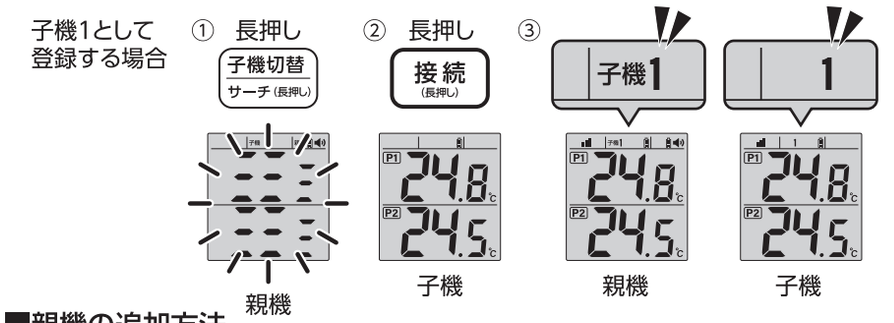
③また、最高最低／リセットボタンで、電源を入れるかリセットしてから現在までの間における最高温度・最低温度を表示することができます。最高温度や最低温度も、親機→(子機1→2→3→4→5)→親機の順に切り替えることができます。
※親機・子機ともに測定値は1分ごとに更新されます。親機で表示する子機の測定値は5分(長距離タイプは10分)ごとに更新されます。そのため、親機で表示する子機の測定値は、実際の子機の測定値と異なる場合があります。

■子機の登録方法

下記に当てはまる場合は、記載の手順で子機の登録・接続を行ってください。

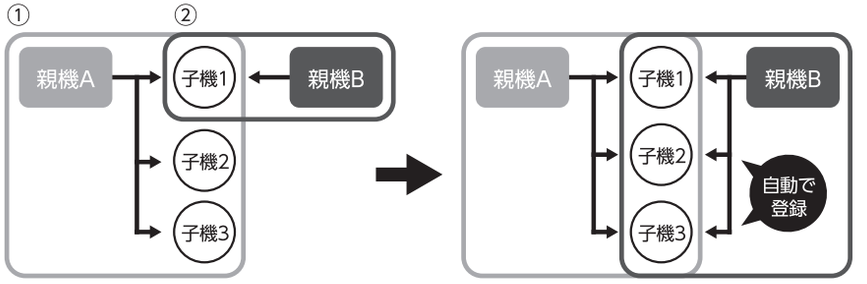
●本製品を初めて使用する場合　●親機や子機を追加する場合
●子機をリセット、電池交換した場合　●親機と子機の接続が上手くいかない場合

①現在温度画面で、親機の子機切替／サーチボタンを2秒間長押しするとサーチモードとなります。「---」表示が点滅し、待機中となります。
②子機の電源を入れるか、接続ボタンを2秒間長押しします。
③親機の液晶画面の点滅が止まり、子機の液晶上部に子機番号が表示されたら登録(接続)完了です。
※子機の受信強度表示が「通信失敗」になっていたらうまく接続できていません。最初からやり直してください。



■親機の追加方法

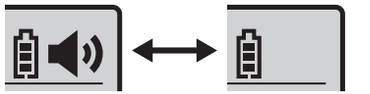
複数の場所で子機の測定値を管理したい場合は、親機を追加できます。
①親機Aに登録したい子機を全て登録します(下図は子機1、2、3を登録した場合)。
②親機Bと子機1を登録し、しばらくすると親機Aに登録されている他の子機も全て登録されます。



※すでに別の子機が登録されている親機を追加したい場合は、「■子機の登録削除方法」を参照のうえ、登録済の子機を削除してから追加してください。

■アラームの設定方法

アラーム／設定ボタンを押すと、アラームのON／OFFを切り替えできます。

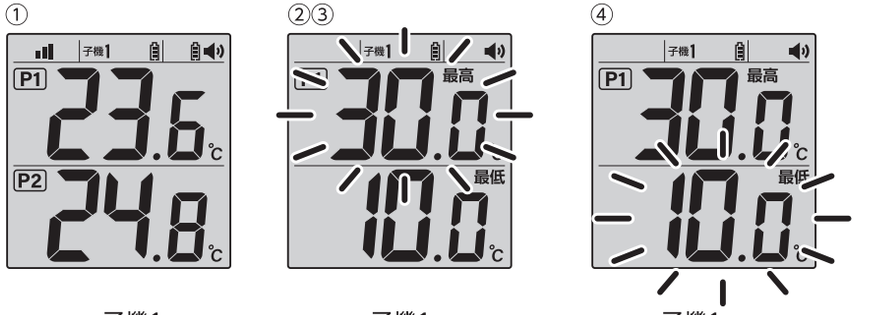


任意の温度を設定し、設定温度以上または以下になるとアラームを鳴らすことができます。いずれかのボタンを押すと一時的にアラームを止めることができます。

●親機の場合
親機からアラームが鳴ります。
●子機の場合
親機からアラームが鳴り、親機の現在温度画面で設定温度を外れた子機番号が点滅します。

①親機の子機切替／サーチボタンでアラームを設定したい機器の温度を表示させます。
②アラーム／設定ボタンを2秒間長押しすると設定画面に切り替わります。
上段に「最高」、下段に「最低」の文字が表示され、上段の温度が点滅します。
③▲ボタン(最高最低／リセットボタン)と▼ボタン(子機切替／サーチボタン)で設定したい温度に合わせ、アラーム／設定ボタンを押すと上限温度アラームが設定されます。
④続けて、下段の温度が点滅します。②と同様に設定し、アラーム／設定ボタンを押すと下限温度アラームが設定されます。子機の場合は、プローブ1→プローブ2の順で設定されます。

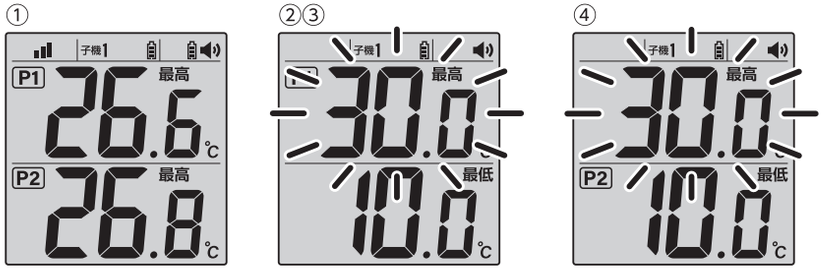
子機1のアラーム設定の場合(一例)



最高温度表示の時は上限温度アラームのみ、最低温度表示の時は下限温度アラームのみの設定の変更ができます。

子機1の上限温度のみのアラーム設定の場合(一例)

①最高最低／リセットボタンを押して最高温度画面にします。
②アラーム／設定ボタンを2秒間長押しすると設定画面に切り替わり、上段の温度(プローブ1)が点滅します。
③▲ボタン(最高最低／リセットボタン)と▼ボタン(子機切替／サーチボタン)で設定したい温度に合わせ、アラーム／設定ボタンを押すとプローブ1の上限温度アラームが設定されます。
④続けて、下段の温度(プローブ2)が点滅します。
アラーム／設定ボタンを押すとプローブ2の上限温度アラームが設定されます。



子機1
最高温度画面

子機1
プローブ1
(最高温度選択中)

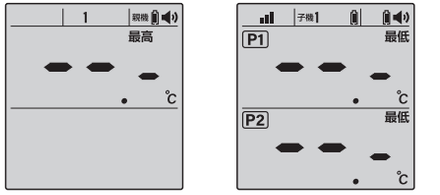
子機1
プローブ2
(最高温度選択中)

※アラームの設定温度は1.0℃ごとの設定となります。また、ボタンを長押しすることで、連続して温度が増減します。
※上限温度より下限温度を高く設定することはできません。そのような設定をした場合は、短くアラームが2回鳴り、上限温度設定を行っていた場合は下限温度設定に、下限温度設定を行っていた場合は上限温度設定に移動します。上限温度より下限温度が低くなるように設定をしてください。
※無操作状態で1分間放置すると、アラーム設定を中断しアラーム設定前の表示に戻ります。
※アラーム設定は親機同士で共有されません。同じ子機に対し、親機ごとに別のアラーム設定をすることが可能です。
※アラーム設定は親機の電源が切れても、子機の登録を削除するまで保存されます。

■最高温度・最低温度のリセット方法

①最高最低／リセットボタンを2秒間長押しすることで、親機または子機の最高温度や最低温度をリセットします。
●現在温度の表示画面
親機または子機の最高温度と最低温度の両方をリセットします。
●最高温度の表示画面
表示中の最高温度のみをリセットします。
●最低温度の表示画面
表示中の最低温度のみをリセットします。
②リセットを行うと2秒間、温度表示を「ーー.ー℃」で表示した後、温度表示に戻ります。
※親機ではリセットすると短くアラームが1回鳴ります。子機では鳴りません。

リセット時の
液晶表示(一例)



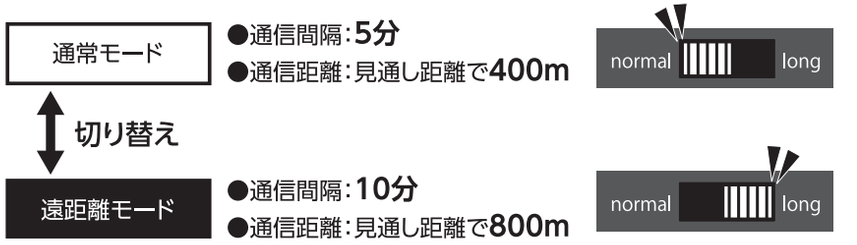
親機
最高温度画面

子機1
最低温度画面

※親機で子機の最高温度や最低温度のリセットを行うと、次回通信時に他の親機や対応する子機でも最高温度や最低温度がリセットされます。
※子機で最高温度や最低温度のリセットを行うと、次回通信時に他の親機の対応する子機の最高温度や最低温度もリセットされます。

■通信距離の切り替え方法(子機 長距離のみ)

使用シーンに合わせて「通常モード」と「遠距離モード」の2種類に切り替えられます。



■子機の登録削除方法

●親機側から子機を個別に削除する場合

①親機の子機切り替え／サーチボタンを押し、削除したい子機の現在温度画面を表示させます。

②最高最低／リセットボタンと子機切替／サーチボタンを同時に2秒間長押しして、その子機の登録を削除します。

③アラーム音が2回鳴り、2秒間温度を「ーー.ー℃」で表示した後、次の子機の温度表示に移行します。

※親機で子機の登録を削除すると、次の通信のタイミングで子機側も親機の登録を削除します（子機番号が消えます）。

最高/最低 リセット(長押し) ＋ 子機切替 サーチ(長押し)

●親機側から登録されている全ての子機を削除する場合

①親機の現在温度画面を表示させます。

②最高最低／リセットボタンと子機切替／サーチボタンを同時に2秒間長押しして、全ての子機の登録を削除します。

③アラーム音が3回鳴り、2秒間温度を「ーー.ー℃」で表示した後、操作ができなくなります。この表示は子機と通信し、情報を共有するまで続きます。

●子機側から削除する場合

①最高最低／リセットボタンと接続ボタンを同時に2秒間長押しして、その子機の登録を削除します。

②温度を「ーー.ー℃」で表示した後、操作ができなくなります。この表示は親機と通信し、情報を共有するまで続きます。

最高/最低 リセット(長押し) ＋ 接続 (長押し)

■通信回復モード

親機は、登録している子機全ての電波の受信に失敗するか、電池の交換などで電源を入れ直すと、通信回復モードに入ります。通信回復モードでは、登録されている子機番号が全て点滅します。

※通信回復モード中は操作ができなくなります。通信回復モードは子機の電波の受信に成功するか、5分（長距離タイプの遠距離モードは10分）経過するまで続きます。

■液晶自動消灯機能

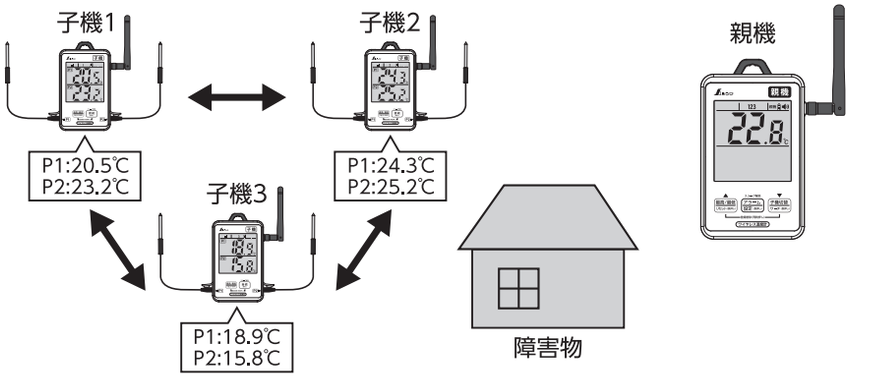
無操作状態で10分が経過すると、自動的に液晶が消灯します。いずれかのボタンを押すか、アラームが鳴る（親機のみ）と解除され、再度液晶が点灯します。

※液晶自動消灯中も測定と通信は行われています。

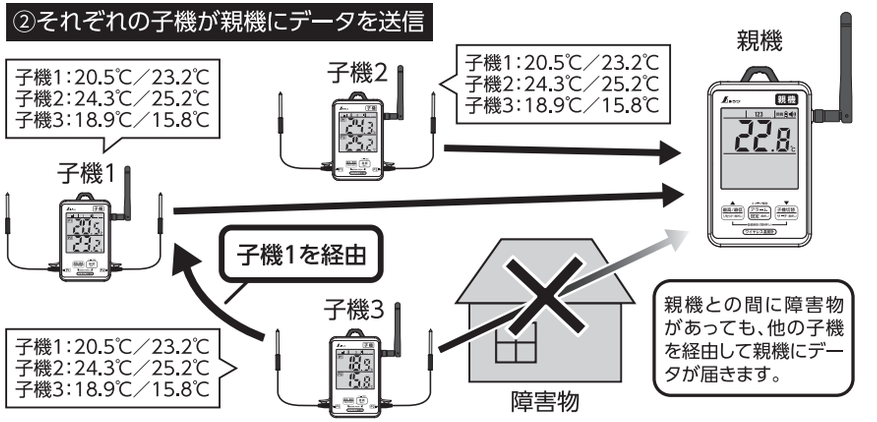
■電波の中継について

本製品では、子機からの通信の確実性を上げるため、2段階の通信方式を採用しています。障害物などの影響で直接親機とは通信がしにくい子機とも、他の子機を中継することで通信ができます。

①子機同士でデータを共有



②それぞれの子機が親機にデータを送信



※子機と中継に使用する子機、中継に使用する子機と親機はそれぞれ見通し距離以内に置く必要があります。

※中継可能な子機の台数は1台までです。2台以上中継して通信することはできません。

※本製品の中継機能は通信の補助を目的としています。完全に電波の届かない位置にある子機との通信は推奨しません。

■トラブルシューティング

トラブル	対処法
液晶表示が薄い	●電池残量が不足しています。新しい電池に交換するか、USB Type-Cから電源を供給してください。 ●使用温度範囲より低い温度の環境に設置されています。使用温度範囲内の環境に設置してください。
液晶表示が真っ黒になる	●使用温度範囲より高い温度の環境に設置されています。使用温度範囲内の環境に設置してください。
液晶表示が固まって動かない ボタンを押しても反応がない	●回路のエラーです。電池ボックス内のリセットボタンを押すか、電池を抜いて約1分後に電源を入れ直してください。 ●通信回復モードや登録削除時の通信待機中です。通信が行われる5分（長距離モードでは10分）後まで待ってください。
明らかに低い温度が表示される	●センサーのコードが断線しかかっている可能性があります。センサーを左右付け替えても低い温度を表示する場合、センサーを交換してください。
LL.L が表示される	●測定範囲より低い温度を測定しています。測定範囲内で使用してください。 ●測定中にセンサーを抜き挿しすると異常な温度が表示される場合があります。センサーが奥まで挿入され、正しく温度表示されることを確認してから使用してください。
HH.H が表示される	●測定範囲より高い温度を測定しています。測定範囲内で使用してください。 ※直射日光の当たる場所では周囲の温度よりも測定結果が高くなる場合があります。センサーを直接日の当たらない日陰に移動させてください。 ●測定中にセンサーを抜き挿しすると異常な温度が表示される場合があります。センサーが奥まで挿入され、正しく温度表示されることを確認してから使用してください。
通信がうまくいかない	●遮蔽物等の影響で電波が届きにくくなっている可能性があります。設置場所を動かすか、途中に子機を追加すると改善する場合があります。 ※直接遮っていなくても、付近の壁などに反射した電波が干渉して電波が届きにくくなっている場合もあります。

トラブル	対処法
- - . - が表示される	●センサーが挿さっていません。センサーが奥まで挿入され、正しく温度表示されることを確認してから使用してください。 ●登録削除時の通信待機中です。通信が行われる5分（長距離モードでは10分）後まで待ってください。 ●長時間通信が上手く行われていません。「■子機の登録方法」を参考に、再接続してください。子機の電池が切れている場合は、子機の電池を交換してから、再接続を行ってください。 ●最高温度／最低温度表示でリセットされています。次回の温度更新までお待ちください。
E01と表示される	●既に親機に登録されている子機を、別の子機が登録されている親機に登録しようとしています。一度片方の親機の登録を全て削除し、もう片方の親機に登録し直してください。その後、登録削除した方の親機と子機を接続し直してください。
E02と表示される	●親機の登録台数が上限に達しています。
リセットや登録削除が親機と子機で共有されない	●リセットや登録削除を行った後、一時的な通信障害などで共有が上手く行われなかった可能性があります。共有が行われるまで少し待つか、共有されなかった側でもリセットや登録削除を行ってください。
同じ子機番号が2台ある	●別々の親機で登録を行った結果、子機の情報共有が不十分だったため、同じ子機番号になってしまった可能性があります。登録削除がうまく共有されない可能性があるため、子機番号の重複してしまった子機と親機それぞれで登録削除の操作を行ってください。その後、同じ親機を使い、再度登録をし直してください。
子機の登録をしたが子機番号が親機側にしかない	●親機から子機への通信に失敗した可能性があります。この状態で再度登録を行うと、登録失敗した子機番号の次の子機番号として子機が登録されます。親機側で失敗した子機番号の登録を削除してから登録を行うようにしてください。

⚠ 注　意

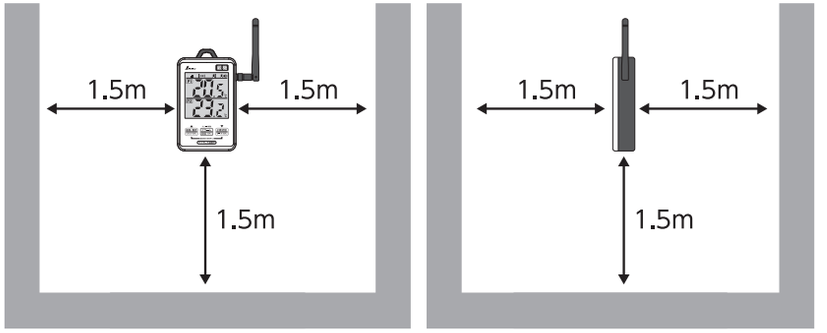
無線機器について

本製品は電波法に基づく特定小電力無線機器として技術基準適合証明(工事設計認証)を受けています。そのため以下の内容を遵守して使用してください。なお、本製品を使用する際に無線機器の利用に関する資格や免許は不要です。

●本製品は裏面に電波法で定める技術基準に適合している無線機であることを証明する技適マークシール㊣が貼り付けられています。このシールは剥がさないでください。
●本製品の取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。
●日本国外では使用しないでください。

通信について

●電池残量が不足していると通信距離が低下することがあります。
●親機と子機の通信距離は見通し距離で、最大距離は「■仕様」の通りです。親機と子機の間に、金属などの電波を反射しやすい物質や水などの電波を吸収しやすい物質でできた遮蔽物があったり、アンテナの近くに電波に影響を及ぼすもの(金属製やコンクリート製の物体や地面)があったりすると通信可能な距離が著しく低下することがあります。できるだけ周囲1.5mに電波を遮るものがない環境で使用してください。周囲の環境で通信性能に影響が出る場合があります。



⚠ 注　意

製品について

●用途以外には使用しないでください。
●本製品は設置してから約1時間後に正しい値を示します。
●次のような場所では使用しないでください。
　○直射日光や冷暖房器具の送風が直接当たる場所。　○湿気の多い場所。
　○塵、ホコリの多く発生するところ。
●落下などによる強い衝撃を与えないでください。不具合の原因となります。
●包装された状態では正確に表示しません。必ず包装から出して設置してください。
●測定器はそれぞれ精度が決まっています。使用状況に合わせて使用してください。なお本製品の精度は「■仕様」をご覧ください。
●汚れた場合は柔らかい布で拭いてください。シンナーなどの揮発油やアルコール類で拭かないでください。
●測定範囲を超える対象の測定はしないでください。
●使用温度を超える環境で使用しないでください。
●設置する場所により、温度は変化するため、注意してください。
　○床からの高さ　○風通しの良し悪し　○家電品の余熱　○冷暖房器具の近く など。
●本製品は温度管理の目安として使用してください。
●アンテナに強い衝撃を与えないでください。
●アンテナを無理に回転させないでください。
●温度センサーへの過度な負荷は故障の原因になります。無理に差し込んで曲げたりしないでください。
●危険ですので温度センサーを人に向けないでください。
●センサープラグは本体にしっかりと差し込んでください。
●通電中の電気回路に温度センサーを接触させないでください。
●温度センサーを土壌に差し込んで使用する場合には長時間放置せず、こまめに抜いて汚れを拭き取ってください。
●センサーケーブルの延長はできません。
●同一の周波数を使用した製品の近くで使用する場合、ノイズの影響を受けることがあります。
●USBケーブルで給電しながら使用できますが、防塵・防水性能は保証できませんので注意してください。また、その際は電池を抜いた状態で使用してください。
●親機の通信回復モード時及び受信強度表示が「通信失敗」の時は、通信回数が増えることで電池を消耗しやすくなるので注意してください。
●「ワイヤレス温度計 最高・最低 防水型 簡単接続」と、「ワイヤレス温度計 最高・最低 防水型 簡単接続 長距離」は互換性がないため、取り混ぜて使用することはできません。また、「ワイヤレス温度計 最高・最低 防水型 簡単接続」と、「ワイヤレス温度計 最高・最低 防水型 簡単接続 長距離」は、「ワイヤレス温度計 A 最高・最低 ツインプローブ 防水型」、「ワイヤレス温度計 A 最高・最低 ツインプローブ 外部アンテナ型」とも互換性がないため、取り混ぜて使用することはできません。
●弊社は、本製品に関連して生じたお客様および第三者の結果的損害、付随的損害、逸失利益などの間接損害について、それらの予見または予見可能性の有無にかかわらず一切の責任を負いません。ただし、弊社に故意または重過失が存する場合またはお客様が消費者契約法上の消費者に該当する場合は、この限りではありません。本製品の使用に関し弊社が損害賠償責任を負う場合、本製品の代金相当額を限度額として賠償責任を負うものとします。

■仕様

	簡単接続		簡単接続 長距離	
	親　機	子　機	親　機	子　機
精　度	0～50℃:±1℃　それ以外:±2℃			
測定範囲	−5～50℃	−40～90℃	−5～50℃	−40～90℃
最小表示	0.1℃			
使用温度	本体:−5～50℃　温度センサー:−40～90℃			
測定間隔	1分※1			
防塵・防水性能	本体:IP64※2　温度センサー:IPX7※3			
電　源	単3アルカリ乾電池 4本 または、USB給電(Type-C) 5V※4 (付属の電池はモニター用のため、寿命が短い場合があります。)			
電池寿命※5	約6ヶ月			
無線設備の種別	特定小電力機器			
中心電波周波数	313.625MHz		920MHz	
通信距離 (見通し距離)※6	150m		通常モード:400m 遠距離モード:800m	
通信間隔	5分		通常モード:5分　遠距離モード:10分	
液晶自動消灯	10分			
プローブサイズ	−	温度センサー部:φ5×50mm コード長:3m	−	温度センサー部:φ5×50mm コード長:3m
感温部	本体に内蔵	先端から15mm	本体に内蔵	先端から15mm
材　質	本体:ABS樹脂　液晶カバー:ポリカーボネート樹脂 液晶:ガラス　温度センサー(子機のみ):ステンレス、塩化ビニル樹脂			
本体サイズ	140×115×30mm			
製品質量	290g	330g	290g	330g

※1 本製品はセンサー内蔵型です。防塵・防水構造のため密閉されており、大きな温度変化にはすぐに対応できない場合があります。
※2 防塵性能:塵埃が侵入しません。防水性能:いかなる方向からの水の飛沫によっても有害な影響を受けません。
※3 一時的(30分以内)に一定水深(1m以内)に水没しても内部に浸水しません。
※4 ACアダプター(品番95320)は別売です。また、USBケーブル接続時は防塵・防水性能が保証されません。
※5 子機の接続台数を増やしたり、アラームが鳴ったりすることで電池寿命が短くなる場合があります。
※6 見通し距離とは親機と子機を結ぶ直線上に遮蔽物がない環境で通信可能な距離です(高さ1.5mに設置した状態で性能を確認済)。親機と子機の間に遮蔽物があったり、アンテナの近くに電波に影響をおよぼすもの(金属製やコンクリート製の物体や地面)があると通信可能な距離が著しく低下することがあります。

※日本国内の電波法(技術基準適合規格)に基づいた製品です。
日本国外での使用はできません。

輸入発売元
シンワ測定株式会社
燕物流センター
〒959-1276
新潟県燕市小池3481
URL https://www.shinwasokutei.co.jp

お問い合わせ
シンワ お客様相談室
0120-666899
受付時間(土日祝日除く)
AM8:30～PM5:00
MADE IN CHINA

2024/11/11現在